

クロスケア・ラボのとは

<https://www.rehabody-care.com/>

将来的な大きな目標：

地域社会に貢献しつつ事業を成長

さらに、将来的な大きな目標：

地域社会に貢献しつつ事業を成長

1. 地域住民の健康寿命延伸への貢献

- **目標:** 地域住民の健康寿命を平均で 2 年延伸させることを目指し、そのためのサービス提供と啓発活動を強化する。
- **具体策:**
 - **予防医療・介護予防の強化:** 病気や介護が必要になる前の段階での介入を重視。介護保険の機能訓練に加え、自費リハビリや整体、鍼灸を組み合わせた「未病改善プログラム」を開発・提供。例えば、海南市の高齢者を対象にした転倒予防教室や、生活習慣病予防のための運動指導イベントなどを定期的に開催。
 - **健康セミナー・ワークショップの開催:** 地域の公民館や集会所などで、各専門家（理学療法士、鍼灸師、柔道整復師など）による健康講座（例:「腰痛・肩こり解消ストレッチ」「今日からできる認知症予防」など）を月に 1 回開催。
 - **地域医療機関・施設との連携強化:** 地域の病院や診療所、介護施設との連携を深め、退院後のリハビリ継続や、在宅での健康サポートのハブとなることを目指す。地域のケアマネージャー向けの勉強会なども有効です。

2. データに基づいたパーソナライズドケアの実現

- **目標:** お客様一人ひとりの状態や目標に応じた最適な「クロスケア・プラン」をデータに基づいて立案・実行し、効果の見える化を図る。
- **具体策:**
 - **総合アセスメントの導入:** 初回利用時に、現在の身体機能、生活習慣、既往歴、痛みや不調の状況などを多角的に評価する「クロスケア・アセスメント」を実施。必要に応じて体力測定なども行う。
 - **個別最適化されたプログラムの提供:** アセスメント結果に基づき、自費リハビリ、鍼灸、整体、介護保険機能訓練の中から最適なサービスを組み合わせ、お客様専用の「クロスケア・プログラム」を作成。
 - **効果測定とフィードバック:** プログラム実施中の定期的な効果測定（例: 痛

みの数値化、可動域の変化、歩行速度の改善など）を行い、お客様に具体的な改善状況をフィードバック。進捗状況に合わせてプログラムを柔軟に見直す。

- **情報共有プラットフォームの構築:** 各サービス担当者間でのお客様情報を安全かつスムーズに共有できるシステムを導入し、より一貫性のあるケアを提供。

3. 「健康コンシェルジュ」としてのブランド確立

- **目標:** お客様が健康に関するあらゆる悩みを相談できる「かかりつけの健康コンシェルジュ」としての地位を確立し、リピート率と紹介数を向上させる。
- **具体策:**
 - **継続的なカウンセリング体制:** 専門家がおお客様の小さな変化も見逃さず、定期的なカウンセリングを通じて健康状態を細やかに把握。
 - **「卒業後」のサポート:** サービス利用期間が終了した後も、自主トレーニングの継続指導や、健康維持のためのアドバイス提供など、長期的な視点でのサポートを行う。
 - **お客様の声の収集と活用:** 定期的なアンケートやヒアリングを通じて、お客様の満足度やニーズを把握し、サービス改善に活かす。成功事例は積極的に情報発信し、信頼性を高める。
 - **オンライン相談・情報発信:** 遠方のお客様や、来所が難しいお客様向けにオンラインでの健康相談サービスを検討。また、SNS やウェブサイトを通じて、健康に関する有益な情報を継続的に発信し、専門性と信頼性をアピール。

これらの目標は、「クロスケア・ラボ」が単なる施術所や訓練施設ではなく、お客様の人生全体を豊かにするパートナーとして、地域社会に深く根ざしていくための利他の精神からなるものである。

「クロスケア・ラボ」開設に至った背景

「クロスケア・ラボ」の開設は、地域医療と介護の現場で20年以上培ってきた経験や滋賀県大津市の大津京の地域拠点の開業医の先生を中心に始められた多職種連携活動から生まれた、強い課題意識と地域貢献への思いが原点からである。

これまで、医療保険や介護保険の枠組みの中でリハビリテーションや機能訓練を提供してきましたが、**保険制度だけでは対応しきれない、多様なニーズを持つ方々が多く存在すること**を痛感していました。例えば、回復期を過ぎて保険でのリハビリが打ち切られた後も、症状の改善や維持を望む方。あるいは、慢性的な痛みや不調を抱えながらも、どこに相談すれ

ば良いか分からない方。さらに、介護保険の認定は受けていないけれど、将来の健康に不安を感じ、積極的に身体づくりをしたいと考える方などです。

また、医療、介護、代替療法といった分野がそれぞれ独立しており、**お客様が自身の状態に合わせて最適なサービスを横断的に利用できる機会が少ない**ことにも課題を感じていました。一つの場所で、それぞれの専門家が連携し、お客様の症状や目標に合わせた最適なケアプランを提供できれば、より効果的で継続的な健康サポートが可能になると確信したのです。

こうした背景から、「自費リハビリ」「鍼灸・あん摩マッサージ」「整体院」「介護保険機能訓練」という異なる専門分野を「クロス」させ、お客様一人ひとりの身体の状態と目標に合わせたオーダーメイドのケアを提供する「ラボ（研究室）」のような場所が必要だと考え、「クロスケア・ラボ」の開設に至った。